路上生活者自立支援センター中央寮を開設しました

◆路上生活者自立支援センター中央寮を開設

令和7年8月4日に千代田区、中央区、港区、新宿区で構成される第1ブロックで、新たに路上生活者自立支援センター（以下「センター」という。）中央寮を開設しました。

センターは、路上生活者の一時的な保護及び就労による自立を支援するため、特別区と東京都が共同して設置・運営している施設です。

今回開設した中央寮は、利用者へのプライバシーの配慮や感染症対策の必要性等から、全室個室としています。全室個室のセンターは、現在運営中の大田寮、江戸川寮、北寮に続き4施設目です。

居室

浴場

外観

◆就労活動の幅を広げることで、就職率の向上を目指しています

センターで行っている自立支援事業では、特別区内において路上生活を余儀なくされている方やそのおそれのある方に対し、就労による自立・円滑な地域移行を支援しています。就労による自立に向けて、多様化する就職活動への対応が求められている中、今年度からオンラインによる面接等に活用できるインターネット（Wi-Fi）環境を、全てのセンターの食堂又は就労活動室に整備しました。求職情報や技能訓練等の機会の提供に加え、Wi-Fiの活用により利用者の就職活動の幅が広がることから、就職率の向上が期待されます。

特別区人事・厚生事務組合と運営委託事業者は、これまで各センターで培われた経験や成果を活かし、センター設置区をはじめとした各特別区、東京都、関係機関等と連携して、路上生活者対策支援事業の更なる充実に努めてまいります。

（特別区人事・厚生事務組合厚生部）

「特別区職員ハンドブック2025」のご紹介

特別区職員研修所では、共同研修を充実・強化するとともに23区の人材育成を支援する目的で、教材開発などの調査研究事業を行っています。その一環として、特別区職員ハンドブックを発行しています。

「特別区職員ハンドブック2025」は、23区を取り巻く行政課題、地方自治・税財政制度、特別区制度の沿革、組織と仕事の進め方など、23区で働く職員に必要と考えられる基礎的な知識を、分かりやすい表現で網羅しています。

また、本書は、職員だけではなく、23区について知りたい方にも、おすすめできる一冊です。この機会にぜひご覧ください。

（特別区職員研修所）

定価　1,100円（10%税込）

○「特別区職員ハンドブック2025」構成

第Ⅰ編 特別区と区政	第1章　23区のすがた
	第2章　23区の現況
	第3章　区民のくらしと区政
	第4章　人権
第Ⅱ編 自治制度と特別区	第1章　地方自治制度
	第2章　地方税財政制度
	第3章　地方分権
	第4章　特別区制度の沿革
第Ⅲ編 組織と仕事	第1章　組織と職員
	第2章　区政の運営
	第3章　人事
	第4章　財務
	第5章　文書

○購入場所等

購入場所		問い合わせ先
特別区自治情報・交流センター	東京区政会館4階	03−5210−9051
くまざわ書店 都庁店	都庁第一本庁舎2階	03−5320−7537
都政新報社（発行元）		03−5330−8788
コンテン堂（電子書籍ストア）	電子書籍（EPUB版）	https://contendo.jp/